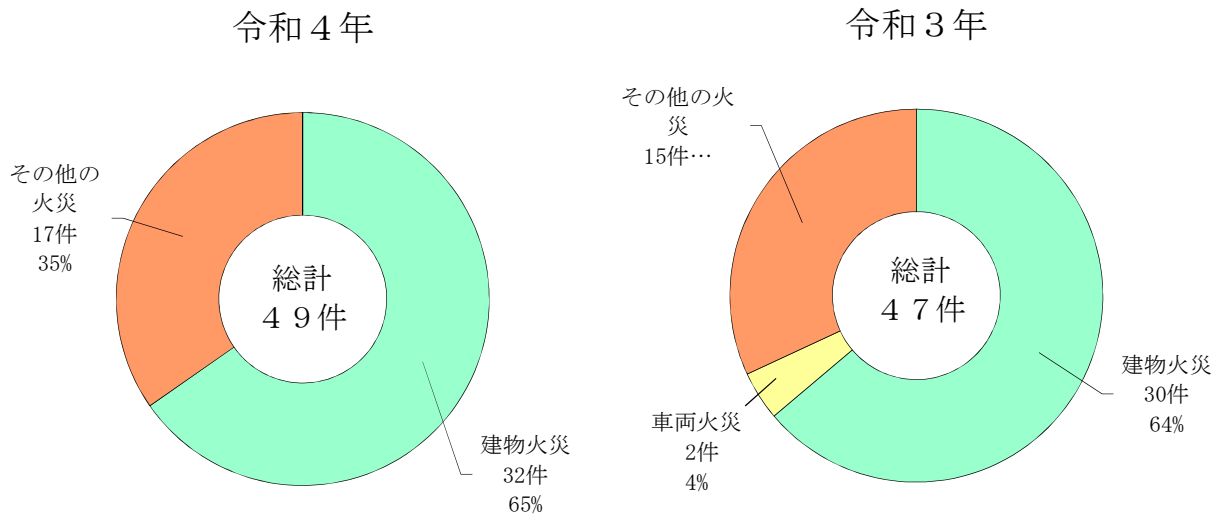


火災種別ごとの件数

令和4年中の川崎消防署管内の出火件数を火災の種別ごとに見ますと、建物火災が32件で全体の65%を占めており、次にその他の火災が17件で35%となっています。



原因別火災件数

令和4年中の川崎消防署管内の出火原因別の件数は、第1位が電気関係（電気機器、電話・電灯等の配線、配線器具）によるもので10件（21%）、第2位が放火によるもので9件（18%）、第3位がたばこによるもので8件（16%）となっています。
 なお、全市においては、放火が原因の第1位となっています。

